

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和3年度 未来戦略創出会議(第5回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和3年10月1日(金) 15時00分～15時30分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はZoom会議にて参加
議題		(1)令和4年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について
公開の 可否	会議	☐ 公開 ☒ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 資料は、政策形成段階の資料のため非公開。
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・国際文化プロジェクト推進室長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長(欠席)、区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長(欠席)・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	財政課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和 4 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について

幹事 資料に基づき、令和 4 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について説明。

我が国における新型コロナウイルス感染症は、拡大・小康状態を繰り返しつつも終息の兆しを見せることなく、経済・社会に依然として計り知れない影響を及ぼしている。本区は昨年度、7 次にわたり補正予算を編成するとともに、令和 3 年度当初予算においても、コロナ対策として 53 事業、約 13 億円を計上するなど、区民の生活・経済活動を支えるため、必要な施策を適切かつ着実に実施しているところである。

このような中、歳入においては、国が一方的に進めてきた不合理な税制改正の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動への影響により、本区の二大基幹歳入である特別区民税と財政調整交付金は、今年度においては、令和元年度決算額と比較して 50 億円以上もの減収となることが見込まれる。令和 3 年度予算編成では、急激な歳入減を補うため、財政調整基金から 69 億円もの繰入金を計上することで財源不足を補ったが、コロナ禍と不合理な税制改正という 2 つの影響が区財政に大きなのしかかっており、このような厳しい歳入環境は数年続くことが見込まれる。

一方、歳出においては、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すことに加えて、デジタル化の推進や池袋の都市再生、さらには、子育て・福祉・教育・防災施策の充実、老朽化した区有施設の更新など、喫緊の行政課題は多岐に渡っている。また、来年度は、区制施行 90 周年の節目を迎えることから、その先に続く 100 周年も見据えて、さらなる「SDGs 未来都市」の推進に取り組むとともに、それと軌を一にする「国際アート・カルチャー都市」の実現を着実に進める必要がある。

コロナ禍という不測の事態においても、持続可能な財政構造を確固たるものとするためには、令和 2 年度決算において経常収支比率が対前年度比で 5 ポイント上昇し、85.9%となったことを踏まえ、「身の丈にあった」予算編成を念頭に置きつつ、中長期的な視点に基づく安定した財政運営を堅持していかなければならない。

以上を踏まえ、来年度の枠内予算の編成にあたっては、今後の財政見通しが予断を許さない状況にあることを再認識し、新たな施策については、真に必要なものに限定するとともに、全ての既存事業において、事務事業評価などのツールも積極的に活用し、漫然と予算要求することなく、必要な見直しを図られたい。

枠内経費について、各部局の枠配分額は資料のとおりである。なお、枠配分額の算出にあたっては、従来の精査に加え、新たに設定したシーリング(予算要求基準)に基づき、枠内予算のうち義務的な経費(人件費、扶助費、公債費、基金積立金)を除いた一般行政経費の 5%相当額を削減している。各部局は、配分された枠配分額を上限として枠内予算を作成いただき、枠配分額に枠内予算額が収まらない部局については、超過した財源を枠外経費の予算要求額から捻出していただきたい。

枠外経費についても、事業の効率性や有効性、コロナ禍における事業の継続性について引き続き検証し、抜本的な見直しを行ったうえで、必要最低限での予算要求とされたい。枠内経費が枠配分額に収まらなかった部局については、超過した財源を枠外経費の予算要求額から捻出することとする。

- 区長** 依命通達文は簡略化した上で通達されたい。
- 幹事** 承知した。
- 区長** 令和 2 年度決算において、経常収支比率が前年度比で 5 ポイント上昇し、85.9%となったが、これの主な原因は何か。
- 幹事** 歳入の面では、財政調整交付金が約 30 億円減少しており、それによる影響額が 3.3 ポイントである。また、歳出の面では、会計年度任用職員制度に関連した人件費上昇による影響額が、概ね 1.3 ポイントである。
- ⇒資料を一部修正の上、提案の通り決定する。**

※資料 3-5-1「令和 4 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等」は、政策形成段階の資料のため、非公開とする。

会議の結果	(1)令和 4 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について →(1)について資料を一部修正の上、決定。
提出された資料等	・資料 3-5-1 令和 4 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等 ※政策形成段階の資料のため、非公開とする。